

カンボジアチーム

2016. 9. 12 ~ 2016. 9. 14

■ダビデ村上 (TLCCC 人吉フィラデルフィヤ教会牧師)

皆様の心からの、とりなしのお祈りを本当にありがとうございました。今回、私たち夫婦は神さまの恵みによって、特に私は初めて海外(カンボジア)に行く事ができました。主に心から感謝します。

今回のカンボジアチームでは、13日の午前中に、子供達とプールで遊びました。プールで遊んでいる最中、ずっと光輪が太陽の周りが出ていて神様が祝福しておられる事を感じました。

プールで遊んだあとはイオンで食事をとり、ここでも子供達と楽しく過ごす事が出来、夜には聖会と、とても祝福された1日でした。夜の聖会におきましては、3人の子供達の洗礼式が行われました。3人の子供達が聖霊に満たされて、とても喜んでいるのが心に残りました。

ショートメッセージでは、前田副牧師よりイザヤ書41章10節から全ては神様の御手の中にあるという事が語られ、又、チームと過ごす日の前日までひどく雨が降っていたのに、チームが来た当日は雨がやんだとの事でした。その日は曇りであり1日を通して思った程暑くなくて神様の守りを感じました。

メインメッセージでは秋元牧師より1ヨハネ5章4節から、「私達が人生において成功する秘訣は信仰を使う事であり、イエス様を信じている人は信仰があります。私達が信仰を使う事によって、神様からの祝福、恵みを受ける事が出来ます。具体的には(祈る、求める、罪を悔い改める、感謝する、聞き従う、告白する、教会につながる)等であり私達の人生において、いろいろな事が起こっても全ての事に感謝する事、信仰を用いる事によって私達は逆転の勝利を見、神様の技を見、全てが益となり神様は私達の祈りを通して最善を与えて下さいます。そして神様の時があり、私達には遅く感じてそれが最善です。」という事が語られました。しっかりと教会につながって神様に求め従って行く歩みは、とても大切であるという事を強く思いました。

ところで今回の派遣では、私は証の奉仕を与えられ、初めて通訳(前田副牧師)を通して証をする事が出来ました。もともと上がり症であり、人前に立つと緊張で頭が真っ白になってしまいますので神様に祈り求めました。神様は証を語る力を与えてくださり、最後まで落ち着いて話す事ができ神様がなして

くださった事を深く思わされました。

又、初めは子供達とうまくコミュニケーションをとることが出来ませんでした。神様に祈っていくうちに自然と子供達とコミュニケーションがとれるようになりました。この中で1つ思う事がありました。やはり最小限度の英語を学ぶ必要があるという事です。今回の派遣で英語ができないので、いろんな点で困った部分がありました。

そして、帰りの飛行機におきまして感謝な出来事がありました。日本に着いてから分かったのですが、飛行機に預けていた荷物の中に入れていた財布の中身の日本円がなくなっていたことです。私自身の不注意でありますが、神様に感謝しました。私の妻におきましては、聖書をどこかに置き忘れてしまう事も許されました。神様に感謝します。

今回の派遣で子供達の信仰の成長を見ることができて、私自身もいろんな学びがありとても祝福された派遣でした。これからさらに神様に祈り求めて、たくさんの派遣に参加して行きたいと思います。多くの祝福、恵みを与えて下さった神様に感謝します。



■前田暁美 (TLCCC 東京アンテオケ教会)

主の御名を賛美します。皆様のとりなしのお祈りを心から感謝いたします。9月12日～14日に遣わされたカンボジアチームに恵みによって参加させていただくことができました。

今回チームに参加したいという思いが神さまから与えられ確認のために祈り始めたのですが、そのきっかけとなったのが以前カンボジアにチームが遣わされた時にオンライン配信で聞いたカンボジア孤児院の子供たちの賛美でした。日本語で「大きな愛」という曲を賛美しているのを知り、とても感動し、いつかカンボジアに行きたい、子供たちの賛美を聞きたい、一緒に賛美したいという強い願いが与えられました。

今回チームに参加するのが御心か祈り確認する中で、神さまは聖書のみことばを与えてくださり、さらにその確認を求め祈る中で虹のしるしを見せてくださったりと、いろいろな形で確認を与えてくださいました。またチーム2日目のディボーション箇所がまさに語りかけを受けたみことばの箇所です。そのことを通しても神さまの導きを再確認することができました。

今回の派遣は、カンボジア孤児院の子供たちが日本に来て以来初めてのカンボジア派遣であり、さらなる交わりを深めるとともに、次の段階の働きが始まる中で遣わされる派遣でありました。実際に子供たちと接する中で、確かに東京アンテオケ教会のオンライン会員となったことを通して進んでいる働きがあることを感じさせられました。2日目の夜にもたれた聖会では、3人の子供たちの洗礼式が持たれました。子供たちはメッセージを真剣に聞いており、聖会後にはたくさんの子供たちが信仰の告白をしている姿を見ることができました。

また今回3日間の日程のうち、1日目と3日目は移動日で、2日目は子供たちとプールに行き、昼はイオンで食事、夜は聖会というスケジュールでした。プールは屋外のプールで



あったため、天候が守られるように祈っていました。カンボジアは今雨季で、チームが遣わされる前の数日間はずっと雨が続けていたと聞いていましたが、その日は朝から夜まで雨が降ることなく、完全に守られました。風が吹いていて涼しく、プールに入らないメンバーにとっても最善の天候となりました。

また個人的には、今回ミッションスタッフとして参加させていただき、その中で多くの学びがありました。また奉仕のために祈ったひとつひとつの祈りに神さまがこたえてくださり、祈りの恵みを改めて教えられました。

さらに祈りの課題として、テロやデング熱、台風などからの守りのためにも祈っていましたが、派遣前に礼拝のメッセージの中で語られたイザヤ書41:10の聖書のことばが大きな支えとなり、最初から最後まで平安が与えられていたことも感謝でした。

今回、3日目という短い期間の派遣でしたが、中身が濃い、祝福に満ちたあふれた派遣でした。導いてくださった神さまに心から感謝いたします。

「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」(イザヤ書41:10)

ミッションパートナーを募集しています！

聖所から流れ出る水ミッションでは、祈りと献金(毎月一口1,000円以上)をもって、海外宣教の働きに加わっていただく、ミッションパートナーを募集しています。現在、当ミッションからは、アメリカ(NY、ロス、ハワイ、デンバー、バトンルーージュ、サンディエゴ)、ブラジル(アラサトゥーバ)、イスラエル、ザンビア、チェコに宣教師・奉仕者を遣わし、各地での教会の働きがなされています。これからも、神様により、リバイバルの働きに向けて、世界の5大陸において教会設立がなされることが語られています。この、海外宣教全般の働きを支えていくために、当ミッション事務局を運営していく上で、さらに多くの祈りと献金を必要としています。ぜひ、海外宣教の働きに重荷をもたれた方は、ミッションパートナーとして登録していただき、祈りと献金をもって、海外宣教に加わっていただきたいと思っております。重荷を持たれた方は、東京事務局まで、電話、ファックス、又はメールでご連絡いただければ幸いです。(又、主の十字架クリスチャンセンターの方は、各教会で登録を受け付けています。)